



Les Clefs d'Or Japan

レ・クレドール ジャパン 会報誌 “キー・ニュース”

Key News



2014年4月 第6号

サントリーホール バックステージツアー開催 10名が参加

レ・クレドール ジャパン参加者 (敬称略)

阿部佳 (グランドハイアット東京)

今泉愛子 (グランドハイアット東京)

住吉真矢子 (パレスホテル東京)

竹内郁代 (ホテルグランパシフィック LE DAIBA)

浜崎統 (ホテルオークラ東京)

レ・クレドール ジャパン賛助会員であるサントリーピア&スピリッツ株式会社のお招きにより、2014年2月20日、サントリーホール バックステージツアーに参加させていただきました。

サントリーホールはサントリー二代目社長、佐治敬三氏が1986年に創立した、東京初のコンサート専用ホールです。設計においては

オーストリアの名指揮者であるカラヤン氏をはじめ、多くの人の助言を受けながら綿密に計画され完成時には音の宝石箱のよう

と賞賛をされました。ツアーはブルーローズと言われる小ホールでのビデオ鑑賞からスタートしました。

その後グループに別れて、ロビーからバックステージへと案内をしていただいたのですが、さすが、飲料メーカーであるサントリーだけに、客席の配置は『ヴィンヤード形式』で、ぶどう畑を思わせるステージが360度囲まれていて、客席

にはワイン柄、カーペットはワインレッド色、ロビーのアートは麦の穂がモチーフになっているなど、随所に飲料メーカーとしての想いを感じました。

バックステージのラウンジには出演者のサインが飾られ、いかにスムーズに外部



から楽器の納品が出来るようになってきているか、コンサートホールで使用するグランドピアノの上面は眩しくならないように艶消しが施され、ステージまでが緊張感を持続出来るよう11~12歩の距離に指揮者の控え室が設置されるなど初めて学ぶ事が多く興味深いものでした。

その後、サントリーホールの大きな特徴でもある、オーストリア、リーガー社によって作られた世界最大級のパイプオルガンの演奏を楽しみました。毎月計画をされている無料のオルガンプロムナードコンサートに行くと、この素晴らしい音色を聞く事ができます。

コンサート後にはツアー参加者全員でステージデビューを果たし、音の響きを確認すべく『ドレミの歌』を合唱しました。

今や、このコンサートホールがあるからこそ、世界の著名な音楽家が来日し、私達の生活も豊かになっていることに改めてこのサントリーという会社の文化事業に対する熱い思いを感じ、今後お客様をご案内する際にも参考になる有意義な時間となりました。このような機会を与えてくださったことに感謝致します。

(住吉真矢子)



アジアングレス組織委員会

去る3月18日、渋谷にて開催されました。会合では、JNTO様ならびに東京観光財団様から後援を得られることになったこと



と株式会社瀬里奈様から協賛を頂けることが発表されました。さらに、参加受付システムに関する案や kongress の内容をさらに充実したものにすためにプロ

グラムの再検討がなされました。その他、協賛獲得に関して、今一度、各自が行動を起こすことを確認して閉会いたしました。

新規入会

一名と一社が承認

シャングリ・ラホテル 東京のチーフコンシェルジュ野武宏仁氏(写真左)が国際準会員として承認されました。

株式会社日の丸リズムジン様が賛助会員として承認されました。

4月1日現在、レ・クレドール ジャパンは名誉会員2名、国際正会員15名、国際



準会員11名、賛助会員11社で活動をいたしております。

発行：田嶋益美 / 編集：浜崎統